

避難訓練 反省アンケート

1. 引き渡し訓練について

- ・まなびポケット、学校HPに掲載されたURLにアクセスして、必要事項を入力した人数

【全校生徒】 回答数/在籍数

13:00時点	60.7%	130/214
19:00時点	78.5%	168/214

【年次別】 回答数/在籍数

1年次	81.1%	43/53
2年次	80.9%	55/68
3年次	57.0%	53/93

【所見】

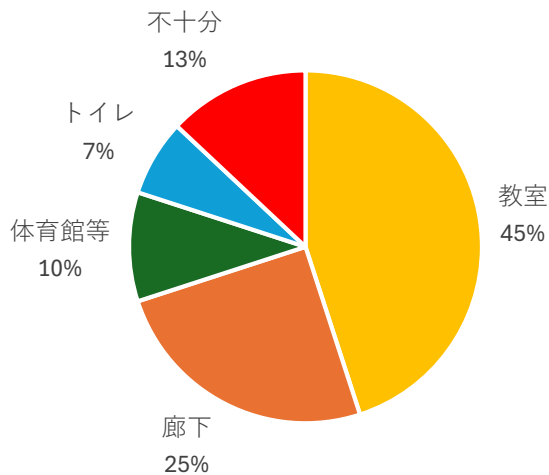
- ・保護者が昼休憩等に入力できるよう避難訓練の時間帯を午前中に設定した。
- ・回答率を高くするための方策を考える必要がある。
- ・クマ出没時のとき、送迎ができない、連絡がつかない家庭はなかったため、生徒からの連絡・要請が一番効果が高いと思われる。今回は、事前の通知文書、まなびポケット、学校HPにも記載したため、家庭でも常日頃からまなびポケットや学校HPをチェックすることが望ましい。

【課題点】

- ・3.11（東日本大震災）の時は、携帯電話もつながりづらい状況であった。通信不通や停電時の対応も検討しておく必要がある。
- ・学校からの情報発信や連絡等、こまめにまなびポケットや学校HPをチェックするよう保護者に呼びかける。

2. 生徒の感想から

Q. あなたはどの場所でどのように自身の身の安全を確保しましたか？



① 教室で机の下に避難

約90件前後（約45%）

「机の下に隠れた」

「頭を守った」

「机の脚をつかんだ」など

👉 最も多く、基本行動は定着

② 廊下でしゃがむ・中央に移動

約50件前後（約25%）

廊下の中央でしゃがむ

身を低くする

👉 おおむね適切

③ 体育館・特別教室など広い場所

約20件前後（約10%）

体育館でしゃがむ

④ トイレでの行動

約15件前後（約7%）

個室でしゃがむ

廊下に出るケースもあ

⑤ 不十分・行動できなかった

約25件前後（約13%）

立ったまま

何もできなかった

放送が聞こえず対応できない

■ 問題点の内訳（重要）

放送が聞こえなかった

約15件以上

→ 大きな課題

迷い・判断遅れ

約10件前後

戸惑った

どうすればいいか分からなかった

■ まとめ（数値から見えること）

約7割以上は適切な行動

ただし

👉 約1割強が適切に動けていない

特に

👉 「放送が聞こえない問題」が目立つ

■ シンプルな結論

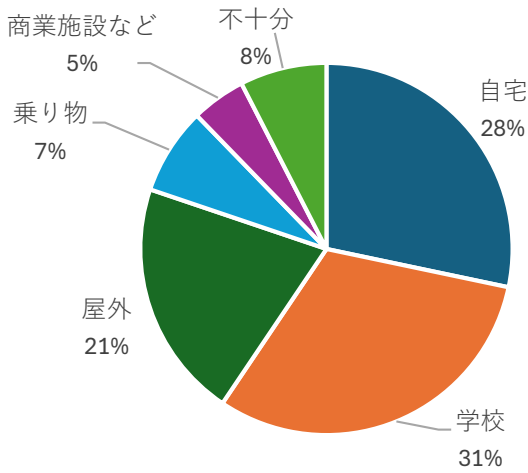
良い：基本動作は定着している

課題：

① 放送依存

② とっさの判断力不足

Q. 先週(4月20日(月)16:53)に発生した地震の際、あなたはどこにいて、どのように自身の安全を確保しましたか？



① 自宅（机の下・安全確保）
約55件（約30%）
 テーブル・机の下に隠れる
 頭を守る
 安全な場所に移動
 👉 最も多い（放課後のため）

② 学校（体育館・教室・特別室）
約60件（約33%）
 内訳：
 体育館中央に集合・しゃがむ（多数）
 教室・実習室で机の下
 生徒会室・情報室などで机の下
 👉 指示に従った集団行動ができている

③ 屋外（農場・テニスコート・公園など）約40件（約22%）
 中央に集まる
 建物から離れる
 しゃがむ
 👉 屋外行動としては良好

④ 乗り物（車・バス）
約15件（約8%）
 停車して待機
 姿勢を低くする

⑤ 商業施設・外出先（店・病院など）約10件（約5%）
 店員の指示に従う
 その場でしゃがむ

⑥ 不十分・対応なし・不適切
約15件（約8%）
 何もしなかった
 寝ていた
 家具を押さえる（危険）
 遊んでいた

■ 見えるポイント
✓ 良い点
 体育館・屋外での行動はかなり適切
 「中央に集まる・しゃがむ」が定着
 指示に従う意識が高い

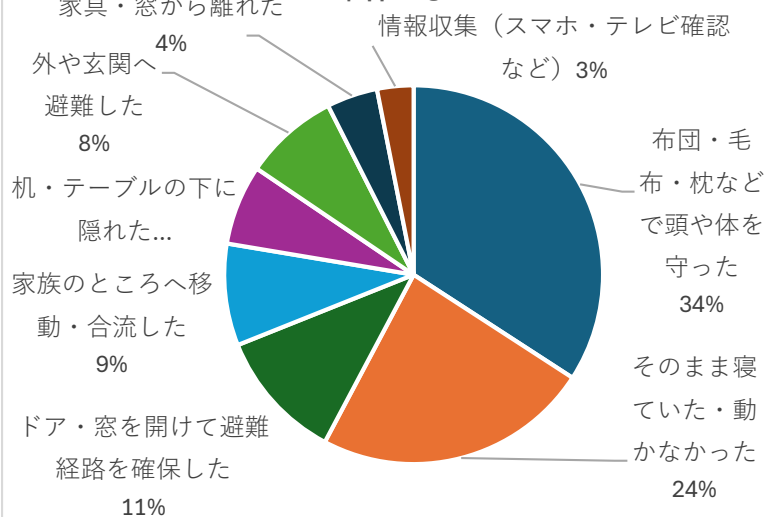
△ 問題点
① 家での行動にバラつき
 家具を押さえる（危険）
 何もしていない
 👉 家庭での防災教育が弱い
② 不適切行動（約8%）
 行動できていない層が一定数存在
③ 情報優先行動
 スマホ・テレビ確認を優先
 👉 まず身を守るが最優先

■ 結論（重要）
 👉 学校ではできている
 👉 家ではできていない

■ 一言でまとめ
「学校では優秀、家庭ではバラつきあり」

Q. 今日(4月27日(月)5:24)に発生した地震の際、あなたはどこにいて、どのように自身の安全を

確保しましたか？



特に多かった回答

多かった安全行動

「布団をかぶった」

「頭を守った」

「ドアを開けた」

「家具や窓から離れた」

「机の下に隠れた」

👉 基本的な地震対応ができて
いる人が多かったです。

気になった回答

一部には、

「そのまま寝た」

「何もしなかった」

「気づかなかった」

「スマホを見ていた」

などもありました。

👉 緊急地震速報が鳴った時に、
まず身を守る行動を取ることが
今後の課題と考えられます。

全体の傾向まとめ

良かった点

頭を守る行動が多い

避難経路確保（ドアを開ける）ができています

家族と合流しようとした人が多い

改善点

「様子を見るだけ」の人がいた

「気づかなかった」人も一定数いた

外へ飛び出す行動は危険な場合もあるため注意が必要

考察

多くの方が就寝中に地震を経験しており、布団や枕で頭を守るなどの行動が多く見られた。また、ドアを開けて避難経路を確保するなど、防災意識を持って行動できた人もいた。一方で、何も行動しなかった人や地震に気づかなかった人もいたため、緊急地震速報が鳴った際にはまず自分の身を守る行動を取ることの重要性を改めて確認する必要がある。

Q. わからないことや質問等ありましたら入力してください。

・寝てる時はどうすればいいですか。・・・1件

A. 緊急地震速報に気付けるように、自身のそばにスマホを置いておく。家族内で対応策を考えておくことが有効だと思います。

・避難するときは必ず全員でいかなければならないのか。・・・1件

A. 自身の身の安全の確保は各自で行わなければなりません、その後の行動は在校時のみならず、その場の責任者等の指示に従う必要があります。

・揺れで部屋のドアがあかなくなったらどうすればよいですか。・・・1件

A. 無理に開けることに拘らずに、まずは自身の身の安全の確保を優先しましょう。揺れが治まってから開閉する。空かなければ避難できる場所を探す。なければ外部と連絡を取り、